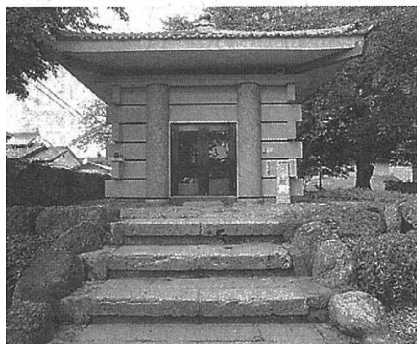


高崎駅はJR高崎線、上越線や上越・北陸新幹線等が通る群馬県最大のターミナル駅である。駅周辺エリアは群馬県最大の商業集積地となっており、17年10月には大型商業施設「高崎オーパ」が西口駅前オープン。東口方面では高崎競馬場跡地でコンベンション施設、高崎市中央体育館及びその周辺地区で都市集客施設の建設が進められるなど、当該地域は群馬県の顔として今後ますます活況を呈することが期待されている。

### 無料バスが運行

高崎駅から南方へ直線距離で約4.6km先の山間に、昨年10月31日「世界の記憶」に選定された「上野三碑」が立地している。群馬県では14年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産登録されており、これに続く快挙となった。



記念館も併設されている日本三古碑の一つである多胡碑

のなかで最古級の石碑群で、山上碑、多胡碑、金井沢碑の三碑が半径1.5kmの範囲内に集積している。山上碑は飛鳥時代の681年、長利という名の僧が母親の供養のために建てたもので、完全な形で残る日本最古の石碑である。多胡碑は、奈良遷都翌年の711年に、上野国の14番目の郡として多胡郡が建郡されたことを記念して建てられた石碑で、那須国造碑（栃木県）、多賀城碑（宮城県）とともに「日本三古碑」の一つとされている。金井沢碑は奈良時代の726年に建立され、三木氏を名乗る豪族が先祖の供養のために一族が結集することを誓った石碑で、当時の家族の繋がりに女性が大きな役割を果たしていたことを知る貴重な資料とされている。

世界遺産への選定を受け、高崎市では9人乗りのシャトルバス「シャトルキャラバン」の出発

## 一般財団法人日本不動産研究所 ②1 地域資源を生かす

～まちづくりからインバウンドまで

### 高崎市 上野三碑が紐解く

世界遺産への選定を受け、高崎市では9人乗りのシャトルバス「シャトルキャラバン」の出発



完全な形で残る日本最古の山上碑と奈良時代に建立された金井沢碑

## 世界遺産に続き「世界の記憶」に

# 最古級の石碑群を巡る

料バスの運行を開始し、上信電鉄吉井駅から上野三碑を巡るルートが約45分間隔で繋いでいる。16年4月には「上野三碑ボランティア会」が発足し、土日祝日には常駐スタッフが観光客の誘導や石碑の解説に当たっている。群馬県では「世界の記憶の「上野三碑」と世界遺産の「富岡製糸場」の見どころや散策コースを一冊にまとめたガイドブックを作成し、両遺産を巡るスタンプラリーを開始した。現在まで様々な講演会が実施済み

### 今も昔も中心地

多胡碑は吉井いしづみの里公園内にあり、95年竣工の多胡碑記念館が併設されている。山上碑、金井沢碑は覆屋に覆われた石碑があるのみのシンボルなものであるが、世界の記憶への選定に向けて、散策路やトイレ、駐車場等の整備が行われている。多胡碑

多胡碑には、渡来人と思われる「羊」と云われる人が初代の郡長官になったと碑に刻まれており、藤原鎌足の子、藤原不比等などの署名があることから、当時の多胡郡が技術を持った渡来人に支えられて産業の進んだ先進地域となり、東日本での重要拠点となっていたのではないかと想像できる。交通の要所であったためであろうか、1300年の時を超えて今も昔も中心地となっている理由を考えてみると実に興味深い。（前橋支所、不動産鑑定士・原孝幸）



記念館以外に併設された観光施設はなく、付近に土産物店や飲食店舗等も見られないため、もともと来場者数を競うような観光施設ではないが、その集積性から自動車、電車、ウォーキング、サイクリング等移動手段に応じた楽しみ方が可能である。